

議案等表決結果一覧表

◆全会一致で可決および承認等した議案

議案番号	件名	議決の結果
発議第1号	愛南町議会委員会条例の一部改正について	原案可決
承認第1号	専決処分第1号の承認を求めることについて(令和7年度愛南町一般会計補正予算(第6号))	原案承認
第4号議案	愛南町行政手続条例の一部改正について	原案可決
第5号議案	愛南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
第6号議案	愛南町課設置条例の一部改正について	原案可決
第7号議案	愛南町執行機関の附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
第8号議案	愛南町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
第9号議案	愛南町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
第10号議案	愛南町保健福祉センター条例の一部改正について	原案可決
第11号議案	愛南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
第12号議案	愛南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び愛南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
第13号議案	愛南町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
第14号議案	愛南町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
第15号議案	愛南町火災予防条例の一部改正について	原案可決
第16号議案	財産の取得について	原案可決
第17号議案	令和7年度愛南町一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
第18号議案	令和7年度愛南町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
第19号議案	令和7年度愛南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
第20号議案	令和7年度愛南町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
第21号議案	令和7年度愛南町温泉事業等特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
第22号議案	令和7年度愛南町旅客船特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
第23号議案	令和7年度愛南町上水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決
第24号議案	令和7年度愛南町病院事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
第25号議案	令和7年度愛南町下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
第26号議案	令和8年度愛南町一般会計予算について	原案可決
第27号議案	令和8年度愛南町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
第28号議案	令和8年度愛南町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
第29号議案	令和8年度愛南町介護保険特別会計予算について	原案可決
第30号議案	令和8年度愛南町温泉事業等特別会計予算について	原案可決
第31号議案	令和8年度愛南町旅客船特別会計予算について	原案可決
第32号議案	令和8年度愛南町上水道事業会計予算について	原案可決
第33号議案	令和8年度愛南町病院事業会計予算について	原案可決
第34号議案	令和8年度愛南町下水道事業会計予算について	原案可決
第35号議案	愛南町過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
第36号議案	愛南町子どもの居場所b&gあいなんの指定管理者の指定について	原案可決
第37号議案	愛南町御荘夢創造館の指定管理者の指定について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
第38号議案	町有財産の減額貸付けについて	原案可決

議会からのお知らせ

議会情報をお伝えします。

議案番号	件名	議決の結果
第39号議案	平城小学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決
第40号議案	城辺小学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決
第41号議案	御荘中学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決

※諮問第1号により、人権擁護委員候補者に飯田豊一^{とよかず}氏を推薦することについて適任と決定しました。

詳しくは、町ホームページに公開予定の会議録によりご確認ください。なお、議会のインターネット中継は町ホームページから専用サイト(愛媛CATV)にアクセスすることでご覧いただけますのでぜひご利用ください。



愛媛CATV
ホーム
ページ



「キャリートップ」 かずのり 大野工業 大野和則さん

創業65年を迎え、町の鉄工所として長きにわたり経営している大野工業。その長い歴史の中でも、38年前に生み出した『キャリートップ』は、町内のみならず全国に広がり、農家の倉庫内作業を劇的に効率化させた看板商品。父の定俊^{さだとし}さんから受け継いだ技術と思いを胸に、4年前から和則さんが工場の経営をしています。

「みかん農家の作業を少しでも楽にしたい」との思いを持っていた父の定俊さんは、収穫だけでなく倉庫内での運搬や保管にも大きな労力がかかっているという現場の課題に着目。鉄工職人の技術と知恵を生かし、収穫コンテナを積み上げたままスムーズに移動できる運搬機の開発に取り掛かりました。重い荷物でも安定した状態で移動ができるよう改良を重ね、ペダルを踏むだけで200kgの荷物でも水平を保ったまま持ち上げることができる独自の機構は開発当初からの特許技術であり、使いやすさと安全性を両立しています。

みかん農家のために開発した商品ですが、あまりにも利便性が高いことから、収穫コンテナを使用する農家の間で評判が広がり、北海道から鹿児島島の離島まで、全国に3,000台以上を送り出してきました。現在では、年間約100台のキャリートップを製造。ネット販売にも取り組んでおり、「こんなにも良いものがあるのかと、もっと多くの人に知ってもらいたい」と話す和則さん。現場で長く使われる商品だからこそ品質へのこだわりは欠かせず、部品の加工から組み立てまで全てを自身が手がけています。実際に使用している農家から、「これほど買ってよかったものはない」と感想が直接届けられることもあるそうで、モノづくりに携わる職人として喜びとやりがいを感じる瞬間と話します。

農家の負担を減らし、作業をより快適にする1台を届けるため、大野工業の現場に寄り添うモノづくりはこれからも続きます。



▲父の発明品『キャリートップ』を握る大野さん



▲最大でコンテナ7段を持ち上げ、狭い場所でも抜群の機動性を発揮



▲一切の妥協を許さないという熱い眼差しで一台一台丁寧に仕上げる大野さん



愛媛CATV
動画